

道徳の時間 学習指導案

日 時 平成23年 2月18日 (金)
対 象 紫波町立紫波第一中学校 1年3組33名
作 成 岩手県立総合教育センター 情報教育担当

1 主題名 社会の秩序と規律

【4-(1)法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める】

2 資料名 電源を切ってください (安全な使い方)

3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

社会生活の秩序と規律を維持するためには、一人一人が他人の権利を尊重し、自分の権利を正しく主張するとともに、自らに課せられた義務を確実に果たそうとする態度を育成することが重要である。権利ばかりを主張して、義務を遂行しなければ社会は維持できない。

中学生の時期は、正しいと思って行動しようとしても、周りの視線を気にして行動に移すことができない場合がある。また、正しいと分かっているにもかかわらず反抗的な態度で自分自身の考えをごまかす生徒も見られる。社会生活の中で秩序や規律を守るために正しい判断や行動が要求され、それらの価値を形成するために大切な時期である。

世間一般に情報通信機器が急速に普及する中、機器を持っている生徒に対しては自分の使い方を振り返り考えさせ、これから持つであろう生徒には場面に応じた使い方を考えさせることが必要となる。

目標達成のためには、法やきまりは自分たちの生活や権利を守るためにあり、それを遵守することの大切さについて自覚を促すことが求められている。社会生活の中で守るべき正義として法やきまりを大事にする心が、日々の実践に結びついたときに、秩序と規律のある社会が実現されるということを生徒に理解させる指導の工夫が必要である。

(2) 生徒について

携帯電話の所持率は全体の20%だが、携帯電話意外に電波を発信する機器はたくさんある。ゲーム機や音楽再生機器、パソコンなどもこれに含まれ、日常的に使用できる環境にある。

また、街の中で電波を発信する機器の使用を制限している場所も数多くある。病院を始め、飛行機、公共施設、電車やバスの一部などで制限されていることは知っていてもマナー違反やルール違反をしている若者も多くいる。さらに生徒たちは知識として、なぜ制限されているのかということまで知らない場合がある。

(3) 指導にあたって

○ 資料について

マリコの母が入院し、手術の必要があることが分かった。父からペースメーカーについての話を聞いた。手術することにより普段の生活に支障はないが、検査や電池の寿命で再度手術が必要であることと、携帯電話がペースメーカーに及ぼす影響について知った。病院の待合室で携帯電話で話をする高校生や、メールを打つ若い母親を見てマリコは不安を感じた。勇気を振り絞ってその高校生に注意をした。そのことがきっかけとなり、病院で携帯電話使用についての張り紙が新しくなった。

○ 指導について

本資料では、主人公(マリコ)の気持ちに注目させる。公共施設において携帯電話が及ぼす影響がわかり、自らきまりを守る大切さに気づかせたい。

資料は、主人公(マリコ)の言葉により病院の張り紙(携帯電話使用について)がかかった場面で終わっている。展開の後段では、生徒自身が自分の生活を振り返って情報機器をどのように使っていくことが大切か書く場面を設定する。

4 本時の学習

(1) ねらい

人間としての生き方を自覚し、義務を遂行しようとする態度を育てる。

(2) 本時の学習

時間	学習活動と主な発問	予想される生徒の意識	具体的支援
導入 5分	1 携帯電話をマナーモードや電源を切らなければ行けない場所について発表する。 ○携帯電話をマナーモードにしたり電源を切ったりしなければならない場所はどこですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機内 ・病院 ・電車やバス ・優先席の近く 	<ul style="list-style-type: none"> ・その時、自分がとった行動を認識させ、資料への関心を深める。
展開 40分	2 「電源を切ってください」を読んで、主人公の気持ちを考える ○ペースメーカーについて話を聞いたマリコは、どんなことを考えましたか。 ○携帯電話で話をしている高校生やメールをしている若い母親を見た時、マリコはどんな気持ちでしたか。 ○高校生に注意をした時、マリコはどんな気持ちでしたか。 ○病院の新しい張り紙を見た時のマリコはどんなことを考えましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・母の手術は大丈夫だろうか ・検査や電池交換など手術の後も大変そうだ ・携帯電話がペースメーカーに影響を与えるかもしれない ・どうしてルールを守らないんだろう ・病院にはいろいろな人がいるのにどうして ・無神経 ・張り紙を見ていないのだろうか ・ドキドキした ・どうしてもやめさせたい ・ゆるせない ・言ってすっきりした ・わたしのお母さんも大丈夫だ ・ナースさんたちもがんばってくれてるんだ ・ナースさんありがとう ・みんなが守ってくれるとうれしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペースメーカーについて正しく理解できるように支援する。 ・資料の様子なども参考にして心情を考える。 ・ナースさんの言葉を含め、マリコの不安が打ち消されていたことを考える。
終末 5分	3 この資料を通して自分の行動を振り返る。 ○自分がこれから気をつけなければいけないことを書いてみましょう。		<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして、書けない子にはサポートをする。

(3) 評価

人間としての生き方を自覚し、義務を遂行しようとする態度を育てることができたか。